

後ろ向き観察研究用 情報公開文書

RSV 感染症を代表とする呼吸器感染性ウイルス性疾患に関する疾患特異的重症化マーカーの探索のご説明

●はじめに 今回、RSV 感染症を代表とする呼吸器感染性ウイルス性疾患に関する疾患特異的重症化マーカーの探索を行い、より効果的で専門的な治療的介入の可能性について検討することを目的としています。

●対象期間

当院で平成 22 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで RSV 感染症を代表とする呼吸器感染性ウイルス性疾患の疑いで治療を受けられた患者さん

●研究内容

RSV 感染症を代表とする呼吸器感染性ウイルス性疾患に関する疾患特異的重症化マーカーの探索。通常診療に伴い行った検査に使用した鼻汁や採血の検査結果やその使用した鼻汁や採血の残りについて追加の研究を行いまとめるのみですので新たな費用やその他負担は生じません。

●個人情報の管理について

論文、学会発表のため検査結果の公表を行う際には個人を特定できない形で行います。本研究の実施過程およびその結果の公表（学会、論文）の際には患者さんを特定できる情報はいつさいふくまれず、目的外の使用を行いません。

●患者さんがこの研究に診療データを提供したくない場合の措置について
対象期間の方の中でこの研究に診療データを提供したくない方は下記までご連絡ください。

● 研究期間

病院長承認日から平成 30 年 3 月 31 日まで

● 医学上の貢献

研究結果は RSV 感染症を代表とする呼吸器感染性ウイルス性疾患に関する新しい治療法、手術術式の発見の一助となり患者さんの治療に貢献できます。

●問い合わせ先

〒060-8543 北海道札幌市中央区南 1 条西 1 6 丁目

札幌医科大学耳鼻咽喉科学講座

電話 011-611-2111 内線 3491（教室） 研究責任者 氷見 徹夫

（土日祝日時間外 電話 011-611-2111 内線 3496 9 階南病棟）